

基幹労連シニアクラブ・ニュース

基幹労連退職者の会事務局

2014/07/29

第 11 号

衆・参両院の傍聴行動を展開するも国会通過

～ 医療・介護一括法が可決・成立 ～



参議院厚労委の様様。委員会傍聴席を埋めた退職者連合の仲間たち。(6月3日)

6月18日、参議院本会議において「地域における医療及び介護の総合的な確保を推進するための関係法律の整備等に関する法律」(医療・介護一括法)が、与党(自民・公明)の賛成多数で可決・成立しました。退職者連合が一貫して反対し、撤回を求め続けてきた介護予防給付の一部を市町村事業へ移行する条項も、何ら修正されることもなく成立しました。

これによって介護要支援者は事実上保険給付から切り離され、サービス提供が緩慢となり、市町村間におけるサービス格差の拡大などの弊害を招くだけでなく、要支援者の重篤化、介護度の押し上げ急進につながる事が懸念されます。

まさにこの法改正は、介護保険制度発足の理念に逆行するものであると言わざるを得ません。

～ 基幹労連シニアクラブからも傍聴行動に参加～

基幹労連シニアクラブとしても、退職者連合の呼びかけに応じて連日、役員を中心に衆・参両院の厚生労働委員会審議を傍聴・監視してきました。6月16日には連合古賀会長も参議院の公聴会で口述しましたが、残念ながら絶対多数を誇る自・公与党の耳にその声は届きませんでした。

群馬県本部に退職者組織が結成されました！

群馬県本部はシニアクラブ活動方針に基づき退職者の会を結成するにあたり、幹事会にて議論を進め7月15日（火）に「群馬県本部退職者の会」結成総会を開催し、確認することが出来ました。会員については大同特殊鋼渋川労組互助会の1組織（289名）が加入し、会長には大同特殊鋼渋川労組出身の津山明氏を確認しスタートを切りました。なお県本部の10構成組合中8組合はOB会組織を有しておらず、今後は構成組織や退職者の会と連携を図りながら組織化に取り組んでいきます。（群馬県本部事務局長・伊藤誠記）



福岡県本部に退職者組織が結成されました！

福岡県本部が7月17日（木）に退職者の会結成総会を開催しました。これで基幹労連38県本部中31の県本部に退職者組織が結成されたこととなります。

当日は、歴代三役・幹事経験者・現職三役など約21名が出席し、シニアクラブから宮園会長が出席しました。今回設置された組織は、福岡県本部三役・幹事経験者で構成し、今後、基幹労連のシニアクラブとの連携を図っていくこととなります。一方、連合福岡の退職者団体連合組織には、これまで同様、新日鐵住金



八幡労組の退職者組織が対応していくことが確認されました。新たな退職者組織は、年1回の総会のほか、研修会を開催して産業政策に関する認識統一を図ることや、生活総点検の取り組み時に、問題・課題を提起できる体制を作っていくことも計画されています。

なお、初代会長には新日鐵八幡労組(当時)出身の宮崎和彦氏(写真)が就任しました。

広島県本部第8回退職者連絡会総会が開催されました

広島県本部退職者連絡会第8回総会が、6月20日（金）に各々の退職者の会・OB会の代表者や広島県本部役員など約60名が出席し開催されました。基幹労連本部から吉岡副委員長、シ

ニアクラブから宮園会長が出席しました。

広島県本部退職者連絡会は、基幹労連広島県本部加盟の6組織の退職者の会・OB会をもって構成し、2002年3月から活動を展開しています。会員数は約7,600名で、広島県退職者団体連合（広退連）の中でも自治労に次いで多く、同組織へ役員を派遣するなど中核的な役割を果たしています。

本総会においては、①信頼のできる社会保障確立に向けた政策制度要求の実現 ②介護保険事業支援など地域福祉の充実 ③来年4月の統一地方選挙に

おける基幹労連広島県本部推せん候補者全員の当選 などの活動方針と、中村昌俊会長をはじめとする2014年度の役員を確認しました。あわせて、退職者連絡会の構成組織が県本部加盟組織54の内の6組織に過ぎないことから、引き続き組織拡大に向けた取り組みを強化していくこととしています。



秋田県本部第2回退職者連絡会総会が開催されました

秋田県本部退職者の会は、7月4日（金）第2回総会を開催しました。

本年5月と6月に構成2組織（会員220名）の役員改選が行われたことから、秋田本部退職者の会としても役員交代を一つの議題として今次総会に提案されました。新会長には小坂鉦山退職者の会から成田一志氏が選出され、副会長、事務局長とも交代となりましたので、三役新たな体制でスタートを切りました。なお、秋田県本部構成組織は15組織ありますが、現役よりもむしろOB会の人員数が多い組織もあることから、第7期に向け各構成組織と連携を取りながら退職者の会の組織拡大に努めてまいりたいと思います。（秋田県本部事務局長・成田幸夫記）



退職者連合第18回定期総会が開催されました

～ 基幹労連シニアクラブとして初めての参加 ～



退職者連合の第18回総会が、2014年7月15日（火）に東京千代田区の連合会館で開催されました。この総会は、昨年までは非鉄退職者の会が対応していましたので、基幹労連シニアクラブとしては初の参加で、宮園会長、西澤副会長、小栗事務局長、田中副事務局長の4名が出席しました。また、会場には基幹労連が関係する全国各地の退職者の会の代表も参加しており、この機会を活用して今後の活動に向けての意見交換を行いました。

総会では、安倍政権の政権運営を厳しく批判するとともに、誰もが生き生きと安心して暮らせる社会づくりに向けて取り組みを進めることを決議しました。

シニアクラブ第3回総会の開催予定日を変更します

～ 2014年10月23日（木）熱海開催で準備を開始 ～

シニアクラブ第3回総会は、2014年9月15日（月）の退職者連合全国高齢者集会にあわせて開催する予定でしたが、第2回総会における会員組織の意向をふまえ、役員会としては高齢者集会とは切り離して開催する方向で検討を開始しました。

現在の計画では、2014年10月23日（木）午後、場所は熱海を予定しています。基幹労連の活動日程との調整をふまえて決定し、正式に案内します。

～ 全国高齢者集会に東京都本部をはじめ近県本部の参加を要請～

なお、退職者連合全国高齢者集会には幹の会（関東）の役員に加え、東京都本部を中心に神奈川県本部、千葉県本部、埼玉県本部からの参加を要請しており、関係団体・者のご協力をお願いします。